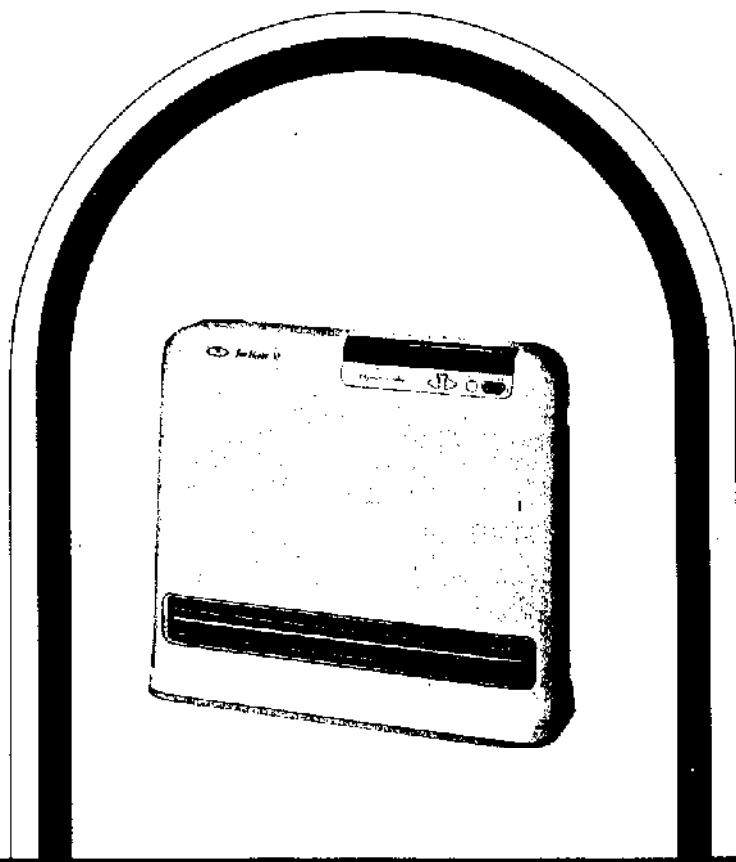
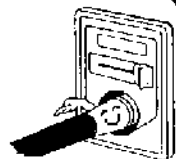
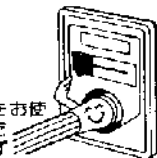
ガスファンヒーター
取扱説明書 43-719・43-969 型

保証書付

型式名	GS-3SW2

ガス器具をお使いになるときのご注意

ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
ガッチリと

ガス器具をお使
いになった
あとは必ず
ガス元栓も
閉める習慣を

30分に1回
1分間程度

6C 6A 13A

ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

● ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーターをお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

換気にご注意

この器具は、強制給排気式（ＦＦ式）ではありませんので換気が必要です。

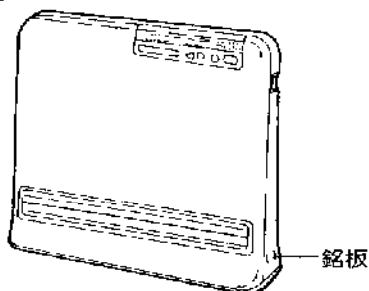
各部の名称

〈操作部〉
フィルターサイン（点滅）（橙）
エアーフィルターのほこり詰まりを知らせます。
室温ランプ（点滅）（赤）
現在の室温のめやすです。
セーブスイッチランプ（緑）
セーブ運転は省エネに役立ちます。
燃焼ランプ（赤）
燃焼しているときに点灯します。
フィルターサイン
室温
低 16 18 20 22 24 26 高
急速 燃焼
温度調節
セーブ
運転スイッチ
入
切
設定室温ランプ（点灯）（赤）
調節スイッチで設定した室温を表示します。
温度調節スイッチ
室温を調節するスイッチです。
急速ランプ（赤）
急速暖房運転時に点灯します。
運転スイッチ
ご使用になるとき「入」にしてください。
〈正面〉
（品番はここに印刷しています。）
操作部
とって
温風吹出し口
銘板（電気・ガス）
〈裏面〉
ゴム管口（ホースエンド）
エアーフィルター（大）
ご注意ラベル
電源コード掛け
エアーフィルター（小）
電源プラグ
電源コード
エアーフィルター（小）のとって

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

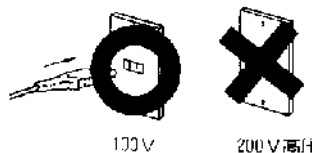
使用ガス・使用電源についてのご注意

● 器具本体（銘板）に表示してあるガス（ガスグループ）以外のガスでは使用しないでください。

● 器具本体（銘板）に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。

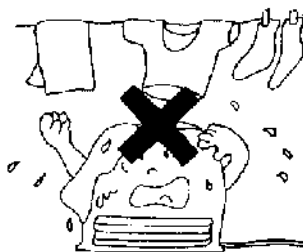
（例）43-719

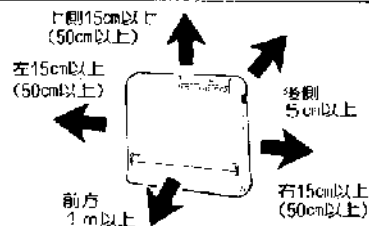
● ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

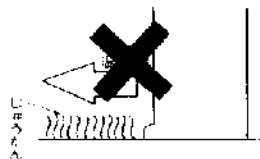
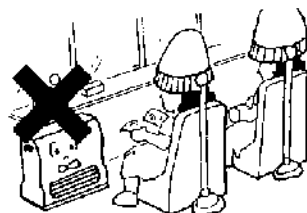
● 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具は交流100V･50/60Ｈz 用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

● 転居されたときにも、ガスの種類、電源周波数の一致を必ず確かめてください。部品の交換や調整が必要となる場合があります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

用途についてのご注意

● 暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。
衣類などが落下して器具に触れますと、火災になる危険があります。

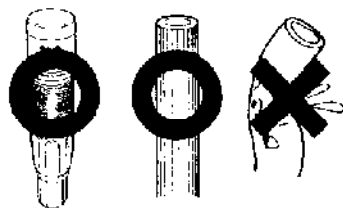
● 衣類などを器具の上に置いたり、掛けたりしないでください。
衣類などが温風吹出し口やエアーフィルター（大･小）をふさぎ器具内に熱がこもり、大変危険です。

使用場所についてのご注意

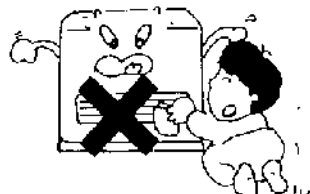
● 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。（右図参照）
不完全燃焼や、火災の危険があります。
後の壁から５cm、上方の壁または横の壁のうちいずれか一方は50cm、あとは15cm、前方は１ｍ以内に家具、建具などの障害物のない位置を選んでください。

特に注意していただきたいこと②

● 毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板等を敷いて水平にしてください。
　温風がじゅうたんにあたり、変色するおそれがあります。

● 理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などスプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所では使用しないでください。
　器具の故障や、腐食性ガスの発生により鏡・ガラスなどを傷める原因になります。

● 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で消えることがあります。換気するときにも、強い風があたらないようにご注意ください。

使用上のご注意

ガス漏れ防止

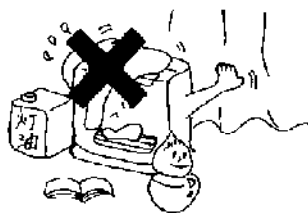
● ゴム管は内径9.5㎜のガス用ゴム管または、ガスコード（13A専用）を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。ビニル管は弾力性がなく、熱に弱く危険です。

火災予防

● 紙・布・異物などを温風吹出し口やエアーフィルター（大・小）の中に入れたり、ふさいだりしないでください。
　火災や、器具の異常過熱の危険があります。

特に注意していただきたいこと③

●器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。またカーテンや衣類などを温風吹出し口に近づけないでください。
　異常過熱や火災の危険があります。

●ヘアースプレーなど引火物を器具の近くで使用しないでください。
　炎は見えていませんが、引火するおそれがあります。

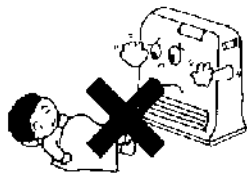
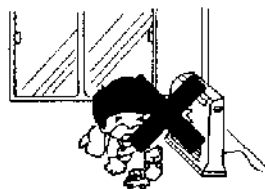
●火をつけたまま、持ち運ばないでください。
　ゴム管が折れ曲がったり、抜けたりして危険です。

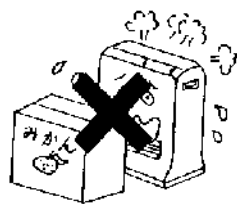
●火をつけたまま、外出・就寝は絶対にしないでください。

やけどのご注意

●ご使用中および使用直後は、温風吹出し口とその周辺およびエアーフィルター(大)部は熱くなりやけどの恐れがありますので、手を触れたりしないでください。
　特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。

●温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意をしてあげてください。
　低い温度でも長時間温風にあたりますとやけどの危険があります。

●小さなお子様が勝手に運転操作をしないようにご注意ください。

●器具の上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。
　やけどや器具が変形するおそれがあります。

過熱防止

●温風吹出し口の前に物を置いたり、器具の後面(エアーフィルター(大・小)部)をふさいだりしないでください。
　異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があたたまらないこともあります。

特に注意していただきたいこと④

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元栓を閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。
  火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

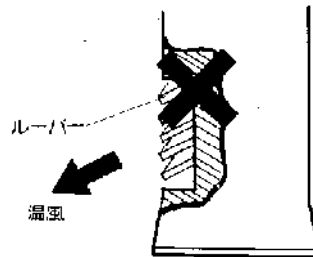
換気のご注意

- 使用中は30分に１回、１分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気をおこなってください。
  この器具は強制給排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。

水ぬれのご注意

- 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。
  器具内に水が入ると、故障の原因となり漏電・火災の危険があります。

温風吹出し口のご注意

- 温風吹出し口のルーバーの角度を故意に変えないでください。床（カーペット等）が変色したり、器具の故障の原因となります。
  掃除の時は特にご注意ください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用をやめ（運転スイッチを切り、ガス元栓を閉める）十分な点検をお願いします。
  （ 故障・異常の見分け方と処置方法 については17〜18ページをお読みください。）

日常の点検・手入れ

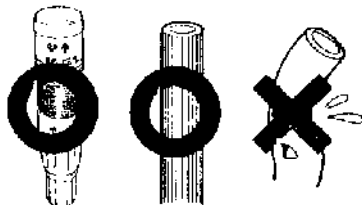
- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。
  （詳しくは15〜16ページをお読みください。）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

器具の設置

使用場所についてのご注意

● ご使用になる場合は、3~4ページの「使用場所についてのご注意」をお読みください。

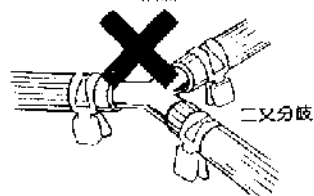
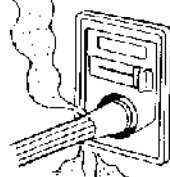
ガスの接続

● ゴム管は内径9.5㎜のガス用ゴム管または、ガスコードを使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。
ビニル管は弾力性がなく、熱に弱く危険です。

● ガスコード（強化型小口径ガスホース）は13A器具のみ使用可能です。ガス接続口（ホースエンド）にスリムプラグを取り付ける場合は、ガスコードおよびスリムプラグ取り付説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

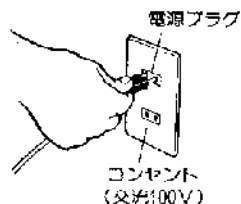
● ゴム管はゴム管口（ホースエンド）の赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。短め（3m以内）で使用し、折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにしてください。また、器具の下を通したり、器具に触れたりしないようにしてください。

● ゴム管の継ぎたしや、二又分岐は行なわないでください。

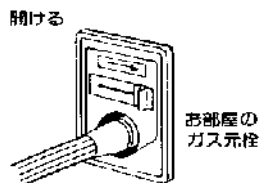
● ゴム管は他のお部屋から使用するお部屋まで延長したり、壁、天井などを通したりしないでください。

二又分岐

● ゴム管は良質のものを用いてください。
ゴム管が古くなりますと、ガス元栓や器具のゴム管口（ホースエンド）から抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガス漏れの原因になり危険です。

● ゴム管の器具接続やガス元栓接続に「カチット」を接続すれば接続が簡単で便利になるだけでなく、不十分なゴム管接続によるガス漏れを防ぐことができます。

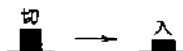
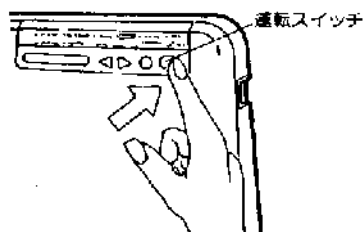
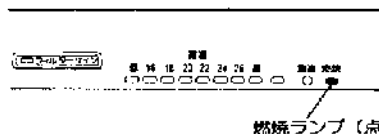
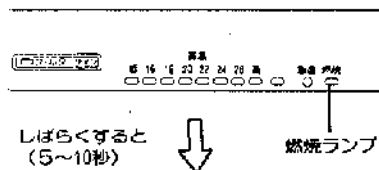
電源の接続

運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

使用手順

点火前の準備と確認

●運転スイッチが「切」の位置にあることを確認したのち、お部屋のガス元栓を全開にしてください。

点　火

運転スイッチを「入」にしてください。
「5～10秒」で点火し、「燃焼ランプ」が点灯します。

●運転スイッチを「入」にし燃焼すると、「燃焼ランプ」●が、点灯し温風吹出し口から風が出ます。

●燃焼しないときは、室温ランプ点滅約30秒後に自動的にスパークを停止します。この場合、運転スイッチをもういちど押して「切」の位置にもどし再度点火操作をしてください。

〈ご注意〉

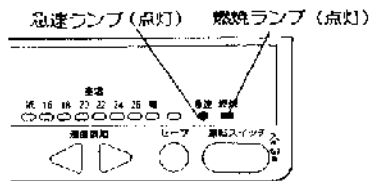
●はじめて使用するときや、しばらく使わなかったときは、ガス配管内に空気が入って点火しにくいことがあります。このときは、「燃焼ランプ」　が点滅しますので、2～3回運転操作をくり返してください。

●点火後、1分程度は、室温にかかわらず強燃焼します。

●点火直後、バーナの膨張音（チリチリ）がする場合がありますが、器具の異常ではありませんのでそのままご使用ください。

使用手順②

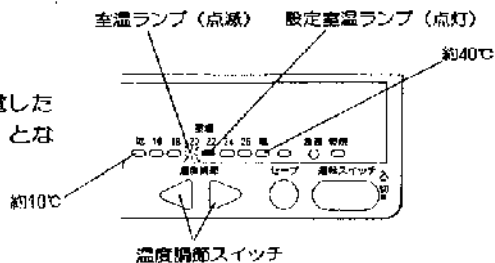
急速暖房

急速ランプ（点灯）　燃焼ランプ（点灯）

●運転スイッチを「入」にし、運転を開始したとき室温ランプが「低」以下を表示する場合は急速暖房機能が働き、燃焼ランプと同時に急速ランプが点灯します。

●急速暖房運転時は「強」のガス消費量の約１割アップの燃焼量で、室温が設定室温に達するまで最大15分間強燃焼し、室温をすばやくたち上げます。
急速暖房運転開始後、15分までに室温が設定室温に達した場合は、通常と同様のガス消費量で「強」､「弱」燃焼の切り替えにより、自動的に温度調節します。

温度調節

一度セットした設定室温は、マイコンが記憶しています。

ただし、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電した時は設定室温は解除され、再通電後は自動的に「22」となります。

●設定された室温は設定室温ランプが点灯して表示します。
温度調節スイッチ「◁（さげる）、▷（あげる）」を押し、お好みの室温に設定してください。
ルームサーモ（室温調節器）の働きにより、「強燃焼」､「弱燃焼」、の切り替えで自動的に室温をほぼ一定に保ちます。

●室温は、室温ランプが点滅して、お知らせします。

●設定温度と室温が一致した場合、ランプは連続点灯します。

使用手順 ③

●室温ランプは器具の感温部付近の温度を表示します。お部屋全体の温度とは必ずしも一致しません。器具の設置条件（すきま風、直射日光など）によって室温ランプと室温が多少ずれることがあります。

<ご注意>

●消火後の再点火時に室温ランプが一時的に高く表示されたのち、もとに戻ることがありますが、故障ではありません。

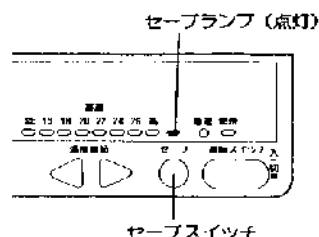
●お部屋の構造、設置場所、外気温などによってはお好みの温度にならない場合があります。また「弱燃焼」になってもお部屋の温度が上がっていくことがありますので、このときは、いったん運転を停止してください。

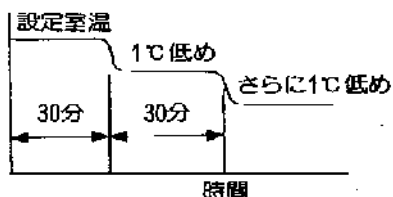
セーブ運転

セーブスイッチを押してください。

セーブランプが点灯し、セーブ運転を開始します。

<ご注意>

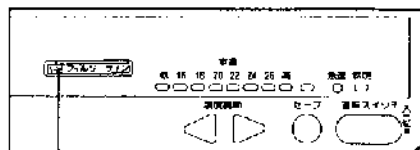
●設定温度が「高」の場合は、セーブ運転は働きません。

セーブ運転とは自動的に少しづつ室温を下げる運転で省エネに役立ちます。
（設定室温までお部屋があたたまった後、30分たつと設定温度を自動的に1℃下げ、さらに30分たつと設定温度をさらに1℃下げます。この時、設定室温ランプは変化しません。）

●セーブ運転の解除のしかた
セーブスイッチをもう一度押してください。
セーブランプが消え、解除されます。

〈ご注意〉

●温度調節と同様に、お部屋の構造、外気温度等によっては、実際に温度が下がらない場合があります。

使用手順④

フィルターサイン

運転中にフィルターサイン（橙色）が点滅することがあります。

● エアーフィルター(大・小) 、温風吹出し口 にほこりやごみがたまったり、障害物でふさがれたりしているためです。

〈ご注意〉

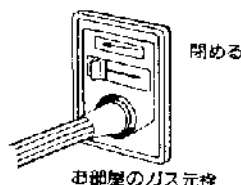
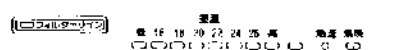
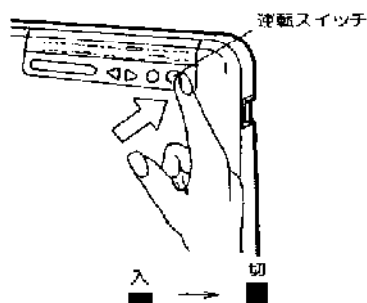
●フィルターサインはほこりの掃除を促すためのランプです。安全装置ではありませんので点滅しても器具は運転を停止しません。しかし、この状態のまま長く使用しますと、異常過熱の原因となって運転が自動的に停止することがあります。

消　火

運転スイッチを「切」にしてください。
消火し、「燃焼ランプ」が消えます。

- 運転スイッチを「切」にしても、しばらくの間、温風吹出し口から風が出続けます。これは器具内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。この間は電源プラグを抜かないでください。
器具の故障の原因となります。

- 燃焼中、運転スイッチを「入」にしたままで、お部屋のガス元栓の操作による消火はしないでください。

燃焼中、もしくは消火後すぐに電源プラグを引き抜かないでください。また他のお部屋への移動は、運転スイッチを「切」にして温風吹出し口から風がでなくなった後、電源プラグを抜いて行なってください。

- ご使用後は、必ずお部屋のガス元栓を閉めてください。

<ご注意>

- 消火後の再点火
消火後再び運転される場合は、すぐには運転操作をしても点火しない場合があります。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。再点火時に「ボッ」と音がすることがありますが、異常ではありません。

- 点火したあとやルームサーモ（室温調節器）が作動したあとおよび消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨張・収縮する際の音で異常ではありません。

停電時の処置

- 停電になったときは、運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉じておいてください。
- 再使用されるときは、ガス元栓を全開にし、8ページの 点火 の順序で操作を行なってください。

<ご注意>

使用中停電になったときは、対流用ファンが止まるため、器具上部およびエアーフィルター(大)部が過熱しますので、器具上部やエアーフィルター(大)部にふれないでください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

このファンヒーターには、

安全装置	働き	安全装置作動時の表示	
		燃焼ランプ	室温ランプ
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に燃焼を停止します。	点滅	低 16 18 20 22 24 26 高 点滅
立消え安全装置	バーナの炎が風などで消えたときや、ガスの供給が止まったときに働きます。		
不点火時ガス遮断装置	運転スイッチを「入」にしたあと、しばらくしても点火しない場合、生ガスの放出を防止します。		低 16 18 20 22 24 26 高 点滅
転倒時ガス遮断装置	器具が転倒したり、激しい衝撃が加わった時などに作動して消火します。		低 16 18 20 22 24 26 高 点滅
過熱防止装置 (バイメタルスイッチ)	エアーフィルター(大・小) が目づまりしたり、温風吹出し口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火します。		低 16 18 20 22 24 26 高 点滅
過熱防止装置 (温度ヒューズ)	万一異常過熱したときに,温度ヒューズが切れて消火します。		
逆火時安全装置	使用中にバーナの炎が逆火した場合に温度ヒューズが切れて消火します。		
電流ヒューズ	ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、運転を停止します。	消灯	低 16 18 20 22 24 26 高 消灯
ファンコントローラー (送風制御装置)	運転スイッチを「切」にしたあとも器具を冷却するまでファンを回転させます。		
停電安全装置	停電したとき安全装置が作動し、運転を停止します。停電後再通電されても自動的に再点火しません。	(停電) 消灯 (再通電) 点滅	(停電) 消灯 低 16 18 20 22 24 26 高 (再通電) 点滅 低 16 18 20 22 24 26 高

モニターランプによるお知らせ機能がついています。

原　　　因	処　置　方　法
ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアーフィルター（大、小）がつまっても同様です。	十分部屋の換気を行ないエアーフィルター(大、小)の掃除をおこなった後再点火してください。
ゴム管を踏んだり、ガス元栓が開ききりなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。	点検後、再点火してください。
ガス元栓が開ききりなかった。 ガスの種類が違う。 ガスホース内に空気が入っていた。	点検後、再点火してください。
点火したまま、器具を持ち運んだり、器具に衝撃を加えた場合、また転倒した場合に作動します。	いったん運転スイッチを「切」にし再点火してください。
エアーフィルター(大、小)が目づまりしている。 温風吹出し口に障害物がある。	エアーフィルター(大、小)の掃除や、障害物を取り除いた後、しばらく（5～6分）してから再点火してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)
異常過熱状態になった。	器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。
バーナに異常が起きた。	
電気回路がショートした。	
	器具を消火する時働く安全装置です。 処置する必要はありません。
停電した。	停電中は必ず運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉じておいてください。 12ページの「停電時の処置」をお読みください。

<ご注意>安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

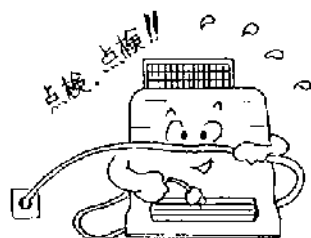
- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションに依頼してください。

- 点検・お手入れは運転スイッチを「切」にし、お部屋のガス元栓を閉め、必ず電源プラグを抜き、器具が冷えてから行なってください。

- 点検で異常を見つけられたら、17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」を参照してください。

- 器具内部(安全装置、電気部品およびガスの通路部分)は絶対に分解しないでください。

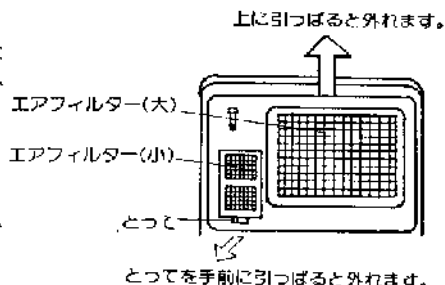
点　検

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元栓ともゴム管口（ホースエンド）の赤線まで十分差し込んでいますか。
- 器具のまわりや温風吹出し口の付近に燃えやすいものはありませんか。
- 電源コードがいたんでいませんか。
- 器具の下や、エアーフィルター(大･小)・温風吹出し口などに、ほこりなどがたまっていませんか。

お手入れ

エアーフィルター(大･小)のお手入れ

- エアーフィルター(大･小)は1ヵ月に1回程度掃除してください。また、運転中にフィルターサインが点滅したときはすみやかに掃除してください。
- ほこりなどがたまると風量が減って暖房効果が悪くなるばかりか、ルームサーモや室温ランプが正確に働かないことがあります。

エアーフィルター(大･小)の取りはずし方

- エアーフィルター(大)は器具の背面にあり、上方にスライドして引き抜いてください。

日常の点検・手入れ②

- エアーフィルター（小）は下方のとって部分を手前に引っぱると簡単に外れます。

エアーフィルター(大・小)のお手入れの方法

- エアーフィルター(大・小)のほこりを電気掃除機などでよく掃除してください。
- 汚れのひどいときは、洗剤で手早く洗い、十分乾燥させてください。
- エアーフィルター（小）の内側に取り付けられている樹脂フィルターの水洗いはおさけください。

エアーフィルター(大・小)の取り付け方

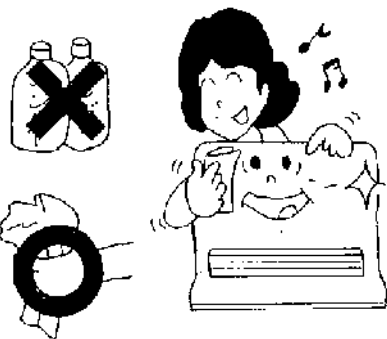
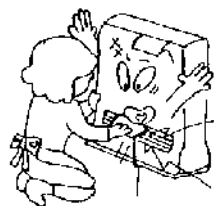
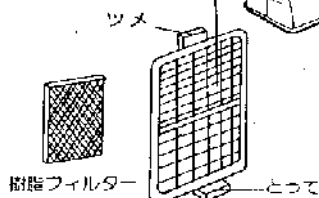
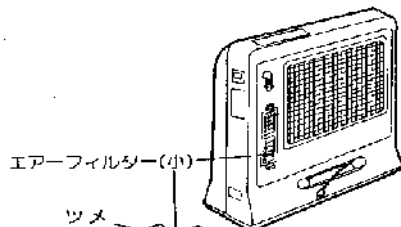
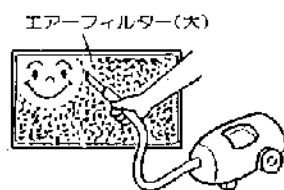
- エアーフィルター(大)は､｢きちん｣とさし込んでください。
- エアーフィルター(小)は､樹脂フィルターを必ずもとの位置にもどしてから､取り付けてください。エアーフィルター(小)は上方のツメ部をさし込み､とって部分を押し込むと取り付きます。

温風吹出し口のお手入れ

- 1ケ月に1回以上は､温風吹出し口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。
  この場合､必ず対流用ファンが止まってから行なってください。
- 温風吹出し口に白い粉が付着することがありますが､異常ではありません。
  やわらかい布でふき取ってください。
- 温風吹出し口を強くふきますと､吹出し口のルーバーが曲がり、温風によって床（カーペット等）が変色することがありますのでご注意ください。

器具外装のお手入れ

- 本体ケースや、温風吹出し口などが、ほこりなどで汚れたときは布などでふき取ってください。

- 化学ぞうきんやベンジンやシンナーなどでふかないでください。
  塗装がハゲたり、色があせたりします。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 原因	室温ランプが点灯しない(赤色)	スパーク音がしない	点火しにくい 点火しない(燃焼ランプが点灯しない)(赤色)	ガスのにおいがする	使用中に消火する	異常な音をたてる(消えてしまう)	部屋の暖まりが悪い	処置方法	参照ページ
電源プラグを差し込んでない	●	●	●					電源プラグを確実に差し込む	7
ガス元栓の開き忘れ・開き不十分			●	●	●		●	ガス元栓を全開にする	8
ゴム管内に空気が残っている			●	●				運転操作をくり返してください	8
ゴム管の接続が不完全				●	●			確実に接続する	7
ガスの種類が違う			●	●	●	●	●	本体右側面の銘板を確認してください	3
ゴム管が長すぎる ゴム管の折れ曲がり・つぶれ			●	●	●	●	●	不具合を除き再点火してください	7
ゴム管のひび割れ・穴あき				●	●			ゴム管を交換・先を切りつめる	4·7
換気が不十分である					●			30分に1回1分程度換気をする	6
温度調節が「低」になっている							●	温度調節を「高」側にする	9
フィルター(大・小)がつまっている。 温風吹出し口に障害物がある			●	●	●	●	●	日常の点検・手入れを実施してください。障害物を除き再点火してください	15・16
点火(燃焼を開始)したばかりである				●				点火時、少しにおうことがあります	—
スパーク装置の故障(コード外れなど)		●	●					点検修理を依頼する	—
安全装置が作動した	●	●	●		●	●	●	点検修理を依頼する	13·14

●処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

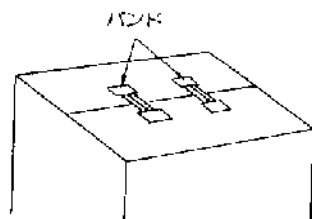
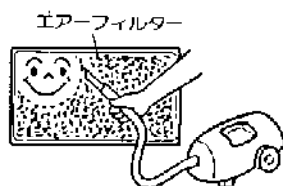
次のような場合は故障ではありません

現　　象	説　　明
はじめて使うときに、器具から煙やにおいが出る。	はじめてお使いになるとき、器具に付着した油がこげて、煙やにおいが出る場合があります。しばらくすると自然になくなります。
着火したときに「ポッ」という音がする。	着火音で、異常ではありません。
点火・消火直後に「チリ、チリ」と音がする。	バーナが熱により、膨張・収縮するときの音ですから故障ではありません。
使用中に「シャー」と音がする。	これはガスの通過音で、異常ではありません。
運転スイッチを「切」にしても、しばらく温風吹出し口より風が出ている。	器具内の異常過熱を防止するために燃焼停止後、対流用ファンをしばらく運転しています。これは器具内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。

長期間使用しない場合

おしまいになるときは、次の要領で手入れをしてください。

- 電源プラグをコンセントより抜いてください。
- お部屋のガス元栓を閉め、ガス用ゴム管やガスコードをお部屋のガス元栓よりはずし、お部屋のガス元栓にキャップをしてください。

- 特にガス通路部分に、ほこりが入って通路を詰らせないように器具のゴム管口（ホースエンド）には、必ずキャップをしてください。
- 温風吹出し口と、エアーフィルター（大・小）のほこりを取り除いてください。
- お求めになったときの箱の中に正しく入れ、湿気の少ないところへ保管してください。保管場所は高温になる所や直射日光があたる所はさけてください。
（しまい方は、箱の上面の折り返し部に表示してあります。）
- なお、こん包の際は附属のバンドを右記の要領で使用してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1)品　　名………（ファンヒーター）
(2)品　　番………左側面下部に貼付してあります。
（例）

(N)43-719(U)
大阪ガス株式会社 07

(3)現　　象………（できるだけ詳しく）
(4)お 名 前
(5)ご 住 所
(6)電話番号
(7)道　　順………（できるだけ詳しく）

点検整備のおすすめ

- 安全快適に、ご使用頂くために定期的に（3シーズンに1回程度）「点検整備」を受けられることをおすすめします。
- 点検整備は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにお申し付けください。

点検整備の内容は、機能部品の点検・確認及び清掃整備です。
この場合は有料となります。

転居される場合

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区別があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

アフターサービスのお申し込み②

保証書について

- この器具には保証書がついています。
  このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
  保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　長

1 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。また使用場所の移動が可能です。

2 ルームサーモ(室温調節器)の働きにより室温変化に応じて、燃焼量と風量を自動的にコントロールし、快適な暖房が得られます。

3 暖房の立ち上がりが早く、温風下向き吹き出しによる暖房効果のよさと、ルームサーモ(室温調節器)を備えたファンヒーターです。

4 プッシュスイッチ式のため、操作が簡単です。

5 換気不足や、フィルターほこりづまり時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付きです。

6 スマートでエレガントなデザインです。

7 セーブ運転機能付きですので、維持費の低下がはかれます。

8 室温が低い場合、通常より約１割カロリーアップの燃焼量で燃焼開始、部屋の温度の立ち上がりを早める「急速暖房」機能付きです。

9 「フィルターサイン」を採用し、フィルター目づまりによるトラブルをお知らせします。

寸法図と仕様一覧表

寸法図

仕様一覧表

機種 / 項目	都市ガス 6C	都市ガス 6A	都市ガス 13A	LPガス
機種	43-719・969型 GS-3SW2			
ガス消費量(Kcal/h)	3000	3000	3000	0.25kg/h
暖房のめやす	8〜12畳(13〜20㎡)			
外形寸法(mm)(高さ×幅×奥行)	438×500×108(脚部分180)			
重量(kg)	9.7			
電気消費量(W)	29/29 (運転スイッチ「切」のとき:約4W)			
接続 ガス	φ9.5mmガス用ゴム管			
接続 電源	交流100V・50/60Hz(電源コード長さ2m)			
燃焼方式	ブンゼン燃焼式			
給排気方式	開放式			
放熱方式	強制対流式			
点火方式	交流電源連続放電点火式			
安全装置	○不完全燃焼防止装置 ○立消え安全装置 ○不点火時ガス遮断装置 ○転倒時ガス遮断装置 ○過熱防止装置(バイメタルスイッチ) ○過熱防止装置(温度ヒューズ) ○逆火時安全装置 ○電流ヒューズ ○ファンコントローラー ○停電安全装置			

おねがい

ガスくさいときは、お部屋のガス元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

名称	所在地	電話番号
本社ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06(202)2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06(652)0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06(301)1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里町39番6号	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1-1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0797(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒尾680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業所)	〒526 長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 0749(62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社